

くす丸くんとなっちゃん隊第3回緑化活動

もっとみどりに親しみを持とう！草花を使ってクラフトづくり！

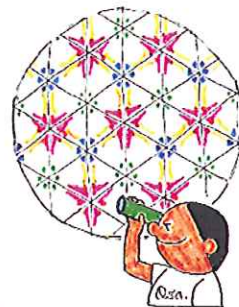
平成25年7月27日（土）

平成24年11月に任命された「第5期くす丸くんとなっちゃん隊」。

最後の活動は、もっとみどりに親しみを持つために草花を使ったクラフトづくりを行いました。

さらに、馬入の花畑やあじさいの会など、平塚市の花の事業についてお話を聞きました。

隊員にとって、平塚市のみどりをさらに身近に感じた日となったでしょう。



☆平塚市の花の事業について☆

馬入の花畑（馬入・光と風の花づつみ）は、平成9年に市が国や県と協力してつくった花畑です。春にはポピー、秋にはコスモスなどが咲き、「馬入花畑の会」の人々をはじめ、多くの人によってきれいな花畑が維持されています。

そして、「河内川あじさいの会」という団体も、河内川の美化を守るため、川の両岸にあじさいを植栽して世話をするなど多くの活動をおこなっています。

このように平塚市のみどりは、多くの方々によって守られています。



☆草花を使ったクラフトづくり☆



クラフトづくりは、万華鏡とサシェ（匂袋）を作りました。万華鏡の中には緑のカーテンから取ったゴーヤの花など数種類の花を入れ、サシェには馬入花畑で採れたラベンダーを使用しました。



隊員に聞きました！～平塚のみどりのために自分ができることは？～

- ◆アサガオの種を毎年とって、はちに植える。
- ◆草むしりをしたり、水をあげたりする。
- ◆ごみを減らして、花をいっぱい植えたい。
- ◆環境を守るために、草むしりや、種まきなど地域の活動に参加する。